

朝日新聞環境教育プロジェクト

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集



はじめよう、未来へのアクション! 地球教室®

2016年度1年間の活動

2016年4月 オリジナル環境教材の製作・配布

朝日新聞社が製作した教材を、全国の小学校や団体に無料配布。計23万9484人の子どもの手にわたりました。



テキスト『地球教室2016』環境問題を総合的に学べる「基礎編」「応用・研究編」の2冊がセットになっています



環境カードゲーム「My Earth」新版地球を舞台にしたカードゲームで、生物多様性や気候変動について遊びながら学べます

6月 「かんきょう新聞」の募集

環境について学ぶなかで興味を持ったこと、考えたことを伝える「かんきょう新聞」の募集を開始しました。

9月 環境教育イベントの開催

独自の環境活動を展開する企業や環境問題の専門家を講師に招き、全国各地で様々なイベントを開催しました。

9月25日 かんきょう1日学校

東京・有楽町に全国の小学4～6年生、約120人が集まりました。記者のレクチャーを受けた子どもたちは企業の環境活動を学び、「かんきょう新聞」作りのための取材にも挑戦しました。

11月～2017年2月 地球教室出張授業

環境活動に注力する企業と朝日新聞社の記者たちが全国の小学校8校で合同出張授業を開催。国内外の環境問題を伝えました。

2017年2月 「かんきょう新聞」の優秀作品を発表

子どもたちの優秀作品を本日発表します。

各協賛企業のテーマに沿った「かんきょう新聞」は夏休み・冬休みの宿題などに利用され、6197作品の応募がありました。応募してくれた子どもたち全員に、参加賞をプレゼント。



参加賞は「苗木」または「革のしおり(全7色)とミニオールのセット」。しおりの色は届くまでのお楽しみ

出張授業や体験型イベントなどを通して国内外の環境問題を身近に捉えてほしい、持続可能な未来のために、行動する人に育ててほしい。今年で9年目を迎える朝日新聞の環境教育プロジェクト「地球教室」は、学校・行政・企業が一体となり、子どもたちと共に地球環境を考えていく取り組みです。

未来につながる環境教育を

取材をもとに“地球の現状”を伝える

朝日新聞記者の授業

エコ活動に取り組む企業とともに、記者5人が国内外の環境問題を解説しました。



海のプラごみ、私たちにできること

便利で生活に欠かせないプラスチックですが、捨てられて海に流れ込むと、砕けて細かくなります。微小プラスチック「マイクロプラスチック」は新たな海洋汚染問題です。私たちに何ができるのか、一緒に考えられればと思います。

朝日新聞東京本社 科学医療部記者 香取啓介

小さなエコ、みんなで続ける

地球温暖化の影響が世界中であらわれています。授業では、海面が上昇し水浸しになっている島国や、多発する山火事の写真を見て、私たちにできることを考えました。無駄な電気を消すなど、身近なことでできることもたくさんあります。

朝日新聞東京本社 科学医療部記者 神田明美



問題解決のため知恵を出し合おう

野生動物や野生動物がすみ地域の人々の暮らしを守るため、私たちは何ができるのか。授業後に寄せられた意見の中には、大人も思いつかないようなアイデアがありました。みんなで考えて話し合えば、人と自然が共存できる道が見えてくるはずですよ。

朝日新聞東京本社 科学医療部記者 小坪 遊

記者が現場に行き行って書いた記事を材料に

地球温暖化の取材で、アフリカのモロッコに行きました。砂漠に並ぶ太陽光発電施設の写真を見せ、クイズも交えて話しました。記者が実際に現場に足を運んで書いていた記事、考える材料にもなれば幸いです。

朝日新聞東京本社 科学医療部記者 小堀龍之



豊かな海をどう守る? 一緒に考えよう

地球温暖化の影響で、日本の海の温度が上がり続けています。大気中の二酸化炭素が増え、海の「酸性化」も進みつつあります。豊かな海の恵みをこれからも受け続けるために、何をすべきなのか。一緒に考えていきましょう。未来を決めるのは、私たち自身です。

朝日新聞東京本社 科学医療部記者 山本智之

かんきょう新聞優秀作品

かんきょう新聞の優秀作品は、地球教室ウェブサイトでも公開中

旭化成賞

「STOP 地球温暖化新聞」

刈谷市立住吉小学校(愛知県) 4年 服部磨依さん

「植樹」「災害に強い住宅の建設」「住宅リサイクル」などの地球温暖化対策を取りあげた。日本の現状を踏まえたエコな呼びかけも。



●旭化成からのメッセージ
関心をもった環境テーマや活動をきちんと自分で調べていますね。読者に伝えたいポイントとして、紙面に生かされていました。「EcoゾウさんClub」を活用すると、省エネ活動のヒントがもっと見つかると思いますよ。

ロッテ賞

「ネイチャーロッテ新聞」

登別市立富岸小学校(北海道) 6年 上山ななさん

包装資源の節約など、ロッテの取り組みをイラストで解説。エコの意義を考え、読者に呼びかけている。



●ロッテからのメッセージ
「なぜ企業はエコ活動を行っているのだろう」と疑問を持ち、そこから自分なりに考えて、学校や家庭でできることを実践しているところが素晴らしいと思います。紙面もイラスト入りできれいにまとめられていました。

三井物産賞

「我が家の木質バイオマス薪ストーブ新聞」

軽井沢町立軽井沢西部小学校(長野県) 6年 安藤海琴さん

薪ストーブ用の木材の調達方法や、木の種類によって異なる燃料としての特徴などをわかりやすく伝えた。



●三井物産からのメッセージ
自分の「木づかい体験」を、自宅の薪ストーブで紹介してくれました。再生可能エネルギーや地産地消の取り組みも理解していますね。薪を作る工程や家族へのインタビューもあり、新聞作りを楽しんでいる様子が伝わってきます。

ナブテスコ賞

「NABTESCO DOOR新聞」

八王子市立別所小学校(東京都) 6年 瀬高 梓さん

「ECOドア」を開発経緯から紹介し、近隣施設の使用箇所へ。独自の調査で風速や室温差から熱量ロスや省エネ効果を算出してまとめた。



●ナブテスコからのメッセージ
ナブテスコの「ECOドア」について、ユニークな視点でよく調べてくれましたね。大学での実地調査や風速計を用いた自動ドアの省エネ効果測定の実験など、密度の濃い取材に並々ならぬ熱意を感じ、感嘆しました。

ESD活動支援センター賞

「地球危機新聞」

印西市立内野小学校(千葉県) 4年 井上匠真さん

焼き畑による森林破壊、野生動物の危機など国内外の現状を紹介。国内で広がる環境保護活動にも触れた。



●ESD活動支援センターからのメッセージ
自然と生き物を守るためのメッセージ「人間がこわしたら人間がなす」が力強いです。人類消滅後を描いたマンガも上手で、こんな事態を防ぐために「世界中の人々が協力」していくことの大切さをよく伝えていました。

特別協賛

AsahiKASEI

LOTTE

三井物産

ナブテスコ

協力



子どもエコクラブ

主催

朝日新聞

後援 文部科学省、環境省

「地球教室」事務局JPIC(一般財団法人出版文化産業振興財団) FAX:03-5211-7285 または E-mail: chikyu@pic.or.jp TEL:03-5211-7286(10:00~17:00、土・日・祝日を除く) 2017年度「地球教室・教材」「出張授業」の申し込み要綱は5月上旬から本紙とウェブサイトでお知らせします。

【地球教室ウェブサイト】 <http://www.asahi.com/chikyu/>